

ホーユー SOMARCA Lab. × 中日美容専門学校 presents

ヘアデザイン展

2025

後期図録



2026 2.3 TUE ▶ 2026 3.29 SUN

本展は、中日美容専門学校で行われたヘアデザインコンテストの受賞作品を展示した企画展です。

より多くの方に作品をご覧いただけるよう企画致しました。

今年のヘアデザインコンテストは、2年生の部と1年生の部に分けて実施され、2年生の部はヘアカラーリストコース在籍の66名がエントリー、1年生の部は美容科の650名がそれぞれクリエイティブ部門とサロンワーク部門に分かれエントリーし、想像力と技術を競いました。

カラー剤にはホーユー株式会社のサロンカラーブランド「SOMARCA Lab. (ソマルカラボ.)」が使用されました。

本展では、コンテスト優秀作品計21作品を2回に分けて展示しています。

学生の皆さんの自由な発想と多様な表現を発表する場を一緒に作り上げることで、ホーユーヘアカラーミュージアムは、未来の美容業界を支える若い世代を応援したいと思っております。

次世代が織りなす彩り豊かな作品を通じて、ヘアカラーリングの可能性を感じていただければ幸いです。

SOMARCA Lab.

まるでラボで実験するように、常識にとらわれない組み合わせや使い方を叶えるサロンカラーブランド「SOMARCA Lab. (ソマルカラボ.)」



自由に組み合わせ、思い通りの色表現を究める。

次回のサロンカラーにも配慮した処方※で褪色までキレイな色味を維持します

※褪色や脱染時を考慮して厳選した直接染料のみを使用した処方設計

後期展示作品

2年生部門

- 1位 「今日もどこかで、」 光島 新太郎/伊藤 羽優
- 2位 「毛ヱーキ」 木全 美羽/伊藤 詩麻
- 3位 「AIと人間の対比」 松井 愛夢/吉田 詩麻
- 4位 「クラゲ×夜空」 原 夏輝/森 紀夏
- 5位 「ただ、咲いていた」 佐藤 侑哉/竹川 脩生

1年生 クリエイティブ部門

- 1位 「揺れと彩りが重なるニュアンスデザイン」
片方 優希
- 2位 「星を操縦する色の粒子」
水野 愛
- 3位 「美女と野獣」
泉 友華
- 4位 「ゆるっふわっレイヤー」
大藏 渚
- 5位 「ひまわり」
西澤 朋果
- 6位 「レイヤー奏でる 色のニュアンス」
堀 心琉
- 7位 「ART」
柿原 さおり

1年生 サロンワーク部門

- 1位 「海の幻想と柔らかな甘さ」 桐原 夕結
- 2位 「キャンディ・パープル」 天野 絵梨

サロンワーク部門3位以下の展示は2026年2月1日にて終了いたしました。

『今日もどこかで、』

前後期展示作品

2年生部門

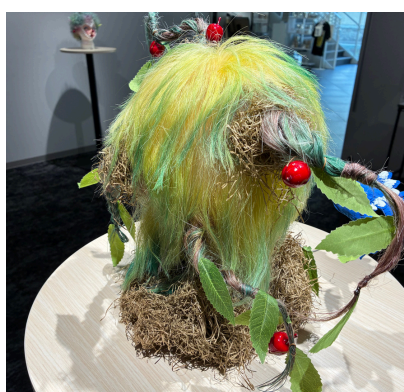
1位



作者

光島 新太郎

伊藤 羽優



製作意図

案を考えている時ふと「みんなも悩んで、自分も悩んで」と思いそこから考えを発展させた所、「この空間に居ないどこかでも誰か何かしらで悩んでいる」と思いました。そう考えていくと自分が生きているこの、「今」という世界に、どこかでいつもの日常が行われていると思いました。

この作品では自然に鳥が1羽果実を求めて飛んでいる様子を表しています。自然のどこかでも人ではない生き物もいつも通りの生活をしている。と少し視野を変えて見た結果、そのような考えが出てきたのが今回の制作意図に当たります。

苦労した点

ヘアでのショートと枝を表現した髪のバランス感を測ったところでした。枝の本数や曲げ方、正面からの見せ方次第ではアンバランスに見えたり、緊張感を感じさせてしまう為、動きのあるフェザーショートに対し、ナチュラルに動く木の枝のバランスを丁寧にしながら制作しました。

あなたにとってヘアカラーとは？

ヘアカラーというのはその人にしか分からない、その人にしか完璧に理解できない、独自の世界観や好みをも唯一、ヘアというキャンパスに描くことだと思っています。例えばですが、オレンジにしたいという理由が好きだとした場合、その好きはどこから来たものなのかを探り、それに見合うカラーを提供していくことです。その人のもつ「好き」はその人のものだと思っています。ヘアカラーは場合によっては一生残るものも出てくるため、好きや世界観の認識のズレはカラーへの追求心が欠けているものだと感じています。学べば学ぶほど深くなるととても楽しい分野だと私は思います。

使用色



プリリアントイエロー



ミントグリーン



ジェリーメディウム

hoyu コンテスト デッサン画

クラス 15

名前 伊藤 羽優
光島 新太郎

使用薬剤 (ソマルカラボ)

クリリアンイエロー

ネオンライム	g	スウィートミルクペー	g
ピュアレッド	g	アネモネ10-7010	g

ミアン

ミニグリーン

対比	(20% : 1) :	5
薬剤	ピュアレッド + スウィートミルクペー +	クリヤ
g数	1 g + 5 g +	30 g

対比	11 : 1 :	5
薬剤	ピュアレッド + アネモネ10-7010 +	クリヤ
g数	5 g + 5 g +	50 g

ミニグリーン
+ アネモネ10-7010
+ クリヤ
5g + 0.5g
+ 30g

同じ今を
生きているのだよ

ネオンライム + クリリアンイエロー + クリヤ
2g + 10g + 60g

時間は共通
であり 平等

ヘアスタイル・カラー・メイクまで決める

今日もどこかで鳥が飛んでいる。



『毛エーキ』

2年生部門
2位



作者
木全 美羽
伊藤 詩麻



製作意図

美容学生としての毛に対する情熱とスイーツ好きとしての甘い執着が奇跡の融合を果たしました。

今回のケーキ

ふわふわのスポンジじゃなくてふわっふわのウィッグ

シロップの代わりに整髪スプレーでツヤ感アップ

中には驚きの空洞!! まさに人生と一緒に

ウィッグのカールは補習で培ったワインディング技術を活かして作ってみました

みなさんも頭にケーキを心にトリートメントを!!!

苦労した点

トーンコントロールや補色の使い方を試行錯誤しながら、狙った色味を再現する技術力と観察力を磨くこと

あなたにとってヘアカラーとは?

ヘアカラーは、髪を染めるだけでなく“個性や気持ちを表現できる手段”だと思います。

色によって印象や雰囲気を変えられるため、ファッションやメイクと同じように、その人らしさを引き出せる無限の可能性を感じます。

カラートリートメントはその中でも、ダメージを抑えながら自由に色を楽しめる点が魅力で、これからもっと多くの人が気軽にヘアカラーを楽しめる時代になると思います。



シアン



ミントグリーン



アネモネパープル



ジェリーメディウム

hoyu コンテスト デッサン画

14 クラス

名前 木全 美羽
伊藤 詩麻

使用薬剤 (ソマルカラボ)

キャンディピンク	g	ロイヤルブルー	g
ミントグリーン	g	ブリリアントイエロー	g

アネモネパープル

対比	1	:	50	:	
薬剤	カラー	+	クリス	+	
g数	g	+	g	+	g

対比	:	:	
薬剤	+	+	
g数	g	+	g

美容院でもなく、
ケーキ屋でもない。
ここは、新世界の入口です。

毛エキ。

生日快乐



713 = P3
50 = 1. 512
4
4
ロイヤルブルー - 300g = 6g
306g

HAPPY BIRTHDAY

ヘアスタイル・カラー・メイクまで決める

『AIと人間の対比』

2年生部門
3位

作者
松井 愛夢
吉田 詩麻



製作意図

この作品は、「AIと人間の対比」をテーマに制作しました。右側は人間の温かさや感情を表現し、左側はアルミホイルやアンテナなどを使って無機質で機械的なAIをイメージしています。現代はAIが進化し、便利で効率的な社会になっていますが、その分、人間らしさや感性が薄れていくこともあると感じました。だからこそ、この作品では“人間にしかない温もりや心”を改めて伝えたいと思いました。AIに頼る時代でも、自分の感性や想いを大切にしていくことが大事だというメッセージを込めています。

苦労した点

この作品では「AIと人間の対比」を一目で伝えることが重要だったため、右と左でまったく違う世界観を作り分ける点に最も苦労しました。その矛盾を形にする工程が、制作で最も難しかった部分です。

あなたにとってヘアカラーとは？

私たちにとってヘアカラーとは、ダメージを抑えながら色を楽しめたり、気分に合わせて気軽に換えられたり、AIのように時代が進化していても、色の力は人の心を動かし続けるはず。ケアとカラーが一体化した新しい形が増えていくことで、より多くの人々がもっと自由に、もっと自分らしく髪色を楽しめる未来が来ると信じています。だからこそ私たちは、技術としてのカラーだけではなく、その人の想いに寄り添うカラーができる美容師になりたいです！



使用色



マンダリンオレンジ



ロイヤルブルー



hoyu コンテスト デッサン画

クラス 15

名前 松井愛夢、吉田詩麻

使用薬剤 (ソマルカラボ)

	g		g
	g		g

対比	1	:	10	:
薬剤	ロイヤルブルー+		74ア	+
g数	10 g	+	500 g	+

(デッサン)
ロイヤルブルー 原液

対比	1	:	50	:
薬剤	マダリニホニシ+		74ア	+
g数	10 g	+	500 g	+

(デッサン)
マダリニホニシ 原液

テーマ

現代

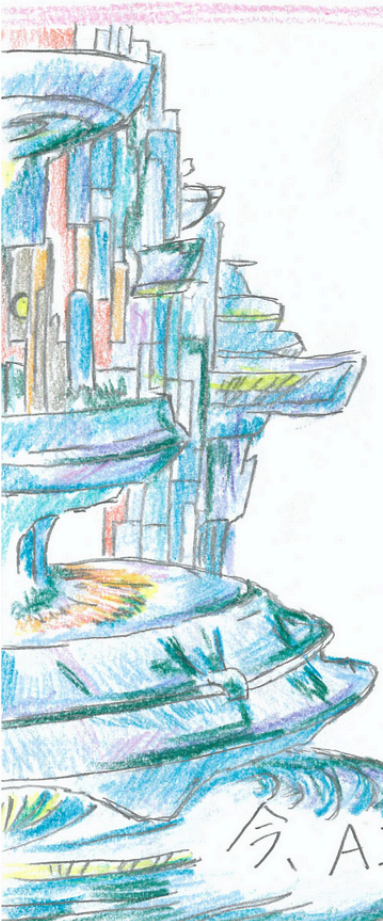
左側は、直線的なカット
アルミオイルを使って、
サイボーグや機械的な印象



右側は、ボリュームとカーブを
出し、“人間”そのものの表情”
を残して、未来に進むなかで
人間らしさを失わぬことの
大切さを表現

ヘアスタイル・カラー・メイクまで決める

今、AIの力が伸びている中で、人間らしさを失わぬ...

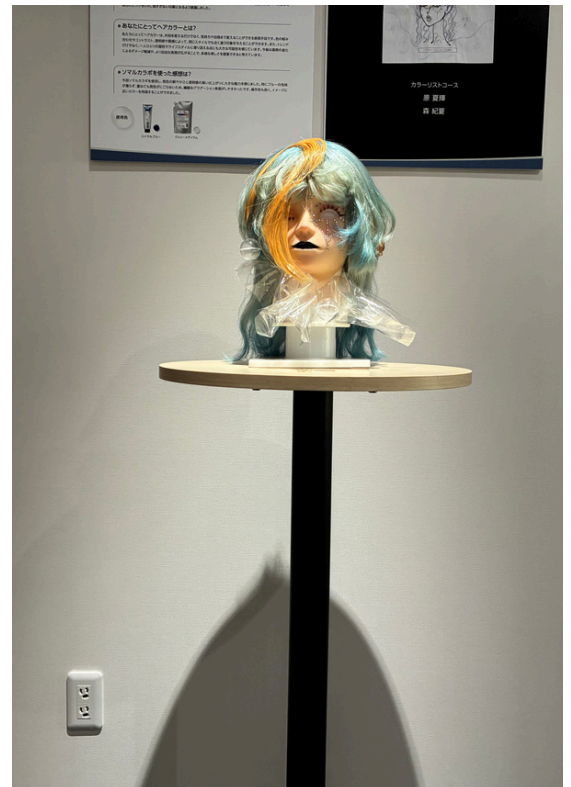


『クラゲ×夜空』

2年生部門
4位



作者
原 夏輝
森 紀夏



製作意図

今回の作品は、コンテストの開催時期が夏だったため、季節感のある青を中心に取り入れたいと考え、真逆の存在である“海”と“空”を組み合わせでデザインしました。クラゲのもつ透明感や柔らかさ、そして夜空の静けさや深さをヘアで表現し、幻想的で浮遊感のある世界観を目指しました。色の重なりで光が抜けるような軽さを大切にしつつ、繊細なブルーのグラデーションと温かみのある色をアクセントに加えることで、奥行きと立体感を意識しました。水中で揺れるような毛流れや、光を反射する装飾を使い、見る角度によって印象が変わるように工夫しました。夏の澄んだ空気と海の神秘性を融合させ、唯一の景色を感じていただける作品を目指しました。

苦労した点

カラーをする際、グラデーションに境目がでないようにすることに苦労しました。また、メイクも全体が青ベースなので部分にピンクをいれ、強すぎない印象になるよう意識しました。

あなたにとってヘアカラーとは？

私たちにとってヘアカラーは、外見を変えるだけでなく、気持ちや自信まで変えることができる表現手段です。色の組み合わせやコントラスト、透明感や質感によって、同じスタイルでも全く違う印象を与えることができます。また、トレンドだけでなく、一人ひとりの個性やライフスタイルに寄り添える点にも大きな可能性を感じています。今後は薬剤の進化によるダメージ軽減や、より自由な表現が広がることで、多様な美しさを提案できると考えています。



ロイヤルブルー



ジェリーメディウム

hoyu コンテスト デッサン画

クラス 14

名前

木原 紀夏
原 夏輝

使用薬剤 (ソマルカラボ)

ダイヤル7"16-	g		g
7"16"フィルム	g		g

対比	1	:	20	:	
薬剤	ダイヤル7"16-	+	7"16"フィルム	+	
g数	g	+	g	+	g

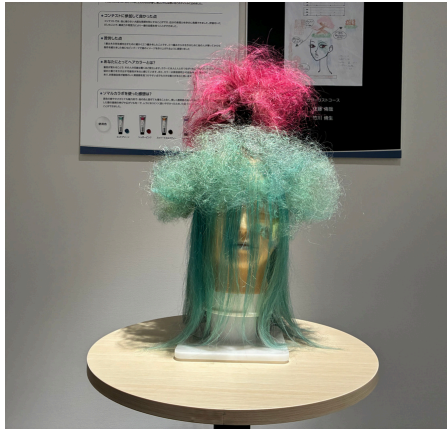
対比	1	:	110	:	
薬剤	ダイヤル7"16-	+	7"16"フィルム	+	
g数	g	+	g	+	g



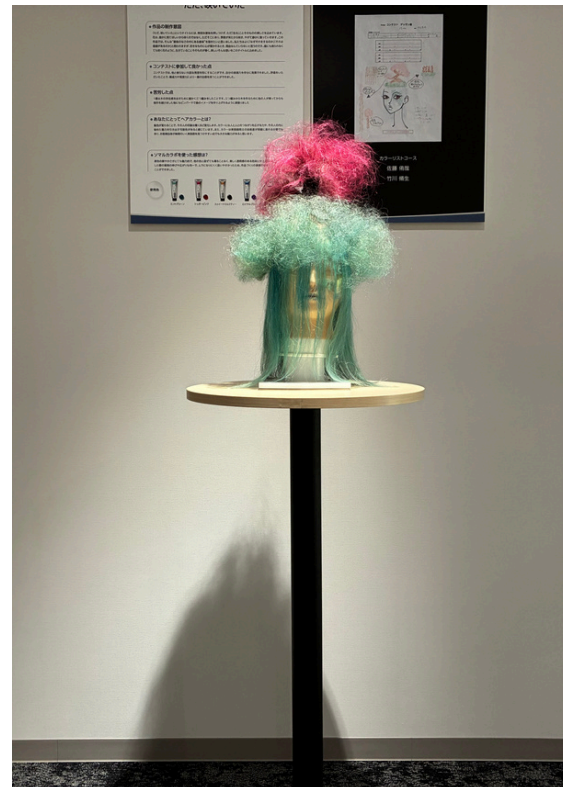
ヘアスタイル・カラー・メイクまで決める

『ただ、咲いていた』

2年生部門
5位



作者
佐藤 侑哉
竹川 脩生



製作意図

『ただ、咲いていた』というタイトルには、特別な意味を押しつけず、ただ「在る」ことそのものの美しさを含めています。花は、誰かに見てほしいから咲くのではなく、ただそこにあり、季節が来たから咲き、やがて静かに散っていきます。この作品では、そんな“意味のなさの中にある意味”を描きたいと思いました。私たちはよく「なぜそれをするのか」「それは価値があるのか」と問われますが、好きなものに心が惹かれるとき、理由なんていないと思うのです。誰にも見られなくても咲く花のように、生きていることそのものが尊く、美しいそんな想いをこのタイトルに込めました。

苦労した点

1番は木の存在感を出すために細かく三つ編みをしたことです。三つ編みから木を作るために他の人が帰ってから制作を続けました。他にもピンパーマで島のイメージを作り上げられるように頑張りました。

あなたにとってヘアカラーとは？

髪色が変わることで、その人の印象は驚くほど変化します。カラーには人と人とのつながりを広げる力や、その人の内に秘めた魅力を引き出す可能性があると感じています。また、カラーは美容師同士の技術差が明確に表れる分野でもあり、お客様自身が納得のいく美容師を見つけやすい点でも大きな魅力があると思います。



ミントグリーン



シュガーピンク



スイートミルクティー



ロイヤルブルー



ゼリーメディウム

hoyu コンテスト デッサン画

15 クラス

名前 さとたけ

使用薬剤 (ソマルカラボ)

シアン	g	シュガー ピンク	g	マニキュア
スウェートミルクティー	g	ミントグリーン	g	黒

対比	:	:
薬剤	+	+
g数	g +	g +

対比	:	:
薬剤	+	+
g数	g +	g +



ヘアスタイル・カラー・メイクまで決める

『揺れと彩りが重なる ニュアンスデザイン』

前後期展示作品

1年生クリエイティブ部門

1位



作者
片方 優希



製作意図

カットラインは毛先にセニングを入れ、動きが出やすい軽さを意識して仕上げました。前髪にはあえてセニングを入れず、まとまりと存在感を残すことで、全体のバランスにメリハリをつけています。カラーは中間から毛先にかけてイエローベースを入れ、光に揺れるような立体感と動きを表現しました。さらに首周りに紫のレースを取り入れることで、ヘアの軽さに対して深みとアクセントをプラス。色味のコントラストと質感の違いを活かしながら、柔らかさと個性が共存するスタイルを目指しました。

苦労した点

ウィッグを1からデザインするのは大変でしたが、完成した瞬間に達成感が一気に込み上げました。自分の手で世界観を形にできる喜びを強く感じました。

あなたにとってヘアカラーとは？

私にとってヘアカラーは、“気持ちまで変えてくれる表現”です。色が変わるだけで、その人の雰囲気や自信、気分まで大きく変わるところに魅力を感じています。技術だけじゃなく、相手の気持ちに寄り添う力も必要で、学ばば学ぶほど奥深い世界だと思います。まだまだ未熟だけど、誰かの背中をそっと押せるようなカラーを作る美容師になりたいと感じさせてくれる存在です。



マンダリンオレンジ



シュガーピンク



ネオンライム



プリリアントイエロー



ジェリーメディウム

『星を操縦する色の粒子』

1年生クリエイティブ部門

2位



作者
水野 愛



製作意図

今回は“宇宙”をテーマにして、ヘア全体でキラキラした世界観を表現しました。薄い色から濃い色にグラデーションでつなげたかったので、ブリーチは特に丁寧に時間をかけてベースを作りました。毛先はくるくるでふわふわに見せたかったので、ワンレンベースでカットして、動きが出やすいようにしています。襟足だけはあえてギザギザにカットして、宇宙の“予測できない形”みたいなアクセントを入れました。装飾にはヘッドセットやストーンをたくさん使って、星や惑星のような輝きをプラスしています。

苦労した点

ブリーチの抜け具合をそろえるのが大変でした。思った色を出すために何度も確認して、時間との勝負でした。

あなたにとってヘアカラーとは？

自分の気分や世界観をそのまま色で表せるものだと思います。色が変わるだけで雰囲気も気持ちもふわっと変わるところに、すごく可能性を感じます。もっと自由に表現できるようになりたいです。

使用色



ピュアレッド



ミントグリーン



シアン



ジェリーメEDIUM

『美女と野獣』

1年生クリエイティブ部門

3位



作者
泉 友華



製作意図

美女と野獣をイメージして、色のコントラストで世界観を表現しました。

全頭を2回ブリーチして、毛先にはピュアレッドを入れて、バラの可憐さを表現してみました。前髪にはエンドカラーでロイヤルブルーを入れて、前髪の長さを変えてアンバランスさを取り入れてみました。カットはボブベースのワンレンで、シルエットがきれいに見えるように意識しました。角の部分は引き出してカットして、少しエッジを出すことで作品にメリハリをつけています。

色と形のバランスで、物語の雰囲気をも自分なりに表現しています。

苦労した点

カットのラインをきれいに見せるのが難しく、特に前髪の形は何度も見直しました。少しの差で印象が変わるので緊張しました。

あなたにとってヘアカラーとは？

私にとってヘアカラーは、気持ちを色で描くような感覚です。明るい色も落ち着いた色も、その時の気分に寄り添ってくれるところが好きです。もっといろんな色で人を笑顔にできるようになりたいです。



ピュアレッド



ロイヤルブルー



ジェリーメディウム

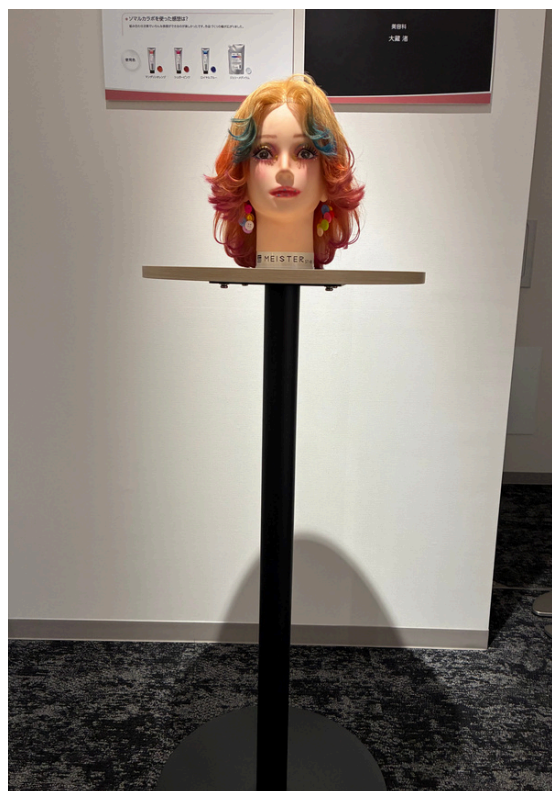
『ゆるっふわっレイヤー』

1年生クリエイティブ部門

4位



作者
大蔵 渚



製作意図

全頭を2回ブリーチして、まずはしっかり色が入るベースを作りました。中間にオレンジ、毛先にピンク、前髪の毛先には青を入れて、動いたときに色がパッと見えるようにしています。カットはあご上からあご下にかけてレイヤーを入れて、軽さと動きを出しました。前髪は目のところでブロックを取って、あえてギザギザに切ることで、カラーとの相性が良いちょっと個性的な雰囲気になっています。

スタイリングは中間を外巻き、毛先を内巻きにして、ふわっと空気を含んだような質感にしました。ポイントでピアスポタンをたくさんつけて、色と動きに遊び心をプラスしています。

自分の“好き”を詰め込んだ、ポップで楽しい作品に仕上げました。

苦労した点

スタイリングでふわふわ感を出すのが難しく、巻きの強さや方向を何回も調整しました。思ったより時間がかかりました。

あなたにとってヘアカラーとは？

ヘアカラーは派手でもナチュラルでも、その人に合う色を見つける楽しさがあって、可能性は無限だなと感じます。



マンダリンオレンジ

シュガーピンク

ロイヤルブルー

ジェリーメディウム

『ひまわり』

1年生クリエイティブ部門

5位



作者
西澤 朋果



製作意図

ひまわりを表現するために、まず3回のブリーチでしっかりとベースを整え、鮮やかな色が映える土台をつくりました。茎のイメージはミントグリーンで表現し、毛束を軽くすることで植物らしい柔らかさと軽やかさを演出しています。花びらの質感は、ピンとアイロンで細かくくるくると動きをつけて、ひまわり特有の立体的な表面を再現しました。

カットは全体のバランスを見ながら調整し、色と動きが自然になるようにしています。

メイクもひまわりをイメージして、温かみのある色味で統一することで、ヘアとの世界観を強めました。

色・質感・フォルムを通して、ひまわりが持つ生命力と明るさを表現してみました。

苦労した点

ブリーチの抜け具合をそろえるのが大変でした。

思った色を出すために何度も確認して、時間との勝負でした。

あなたにとってヘアカラーとは？

日常にちょっとした変化をくれるものだと思います。ほんの少し色を変えるだけで気分が明るくなったり、新しい挑戦ができたり。そんな小さなきっかけを作れるところに可能性を感じます。



マンダリンオレンジ スウィートミルクティー ミントグリーン ブリリアントイエロー ジェリーメEDIUM

『レイヤー奏でる 色のニュアンス』

1年生クリエイティブ部門

6位



作者
堀 心琉



製作意図

リングスはショートをベースにし、全体をライムグリーンで統一することで、コンパクトなシルエットの中に強い存在感を持たせました。毛先には茶色を重ね、ショート特有の動きが出たときに柔らかい陰影が生まれるようにデザインしています。

カットはセームレイヤーで構成し、どの方向に動いても均一に揺れる軽さと立体感を意識しました。カラーのグラデーションがレイヤーの動きとリンクし、光の当たり方で表情が変わるようなニュアンスを表現しています。

メイクは赤系で仕上げ、ヘアの緑とのコントラストを強調。ポイントとして丸いボタンモチーフを取り入れ、遊び心とアクセントをプラスしました。

苦労した点

カット練習があんまりなかったので、どこを切ればいいのか不安でした。スタイリングするときには意外ときれいに切れてた気がする。

あなたにとってヘアカラーとは？

色の組み合わせで無限に遊べるし、まだ知らない表現がたくさんある気がしています。学生のうちにいろんな勉強をして、勉強したいと思います。

使用色



ネオンライム



ミントグリーン



スウィートミルクティー



ジェリーメディウム

『ART』

1年生クリエイティブ部門
7位

作者
柿原 さおり



製作意図

後ろの髪はあえて黒のまま残し、重さと深みをキープすることで、全体の世界観に“影”の要素をつくりました。対照的に、顔周りはブリーチを施し、虹色のグラデーションを入れることで、動いた瞬間に光が差し込むような華やかさを表現しています。

長さは切らずにそのまま活かし、オールウェーブで大きなうねりをつくることで、色の流れと質感がより立体的に見えるようにデザインしました。

メイクは長いまつげと頬の虹色でヘアとの統一感を持たせ、視線を引き寄せるアクセントにして、幻想的なクリエイティブスタイルを目指しました。

苦労した点

デッサンを頑張りすぎて、どう作ったらいいのかわからなくなって先生にいっぱいきました。

あなたにとってヘアカラーとは？

気持ちを色で表現できるところが好きです。明るい色も落ち着いた色も、その人の気分に寄り添えるところに可能性を感じます。もっと自由に表現できるようになりたいです。

使用色



ロイヤルブルー アネモネパープル スウィートミルクティー マンダリンオレンジ ピュアレッド ジェリーメディウム

『海の幻想と柔らかな甘さ』

1年生サロンワーク部門

1位



作者
桐原 夕結



製作意図

クラゲのように柔らかく漂う質感をイメージし、オーバーとミドルにパーマ風の動きを加えることで、軽やかで幻想的な雰囲気表現しました。顔周りにはレイヤーを入れることで、揺れる毛束が表情を引き立て、甘さと知的さを両立させています。髪色にはスウィートミルクティーを差し込み、透明感と優しさを演出。眉は髪色よりも明るめに設定し、抜け感を強調しました。チークにはブラウンを用いて落ち着きを添え、全体のバランスを整えています。さらにゴールドの眼鏡をアクセントとして加えることで、知的でありながら可憐な印象を完成させました。

苦労した点

初めてのウィッグ制作で、カラーやカットのバランスを整えるのに苦労しました。試行錯誤を重ねる中で、表現力や技術を磨けたことが大きな学びになりました。

あなたにとってヘアカラーとは？

ヘアカラーは、私にとって“夢中になれるもの”です。色が重なり合って生まれるニュアンスや質感に魅了され、気づけばもっと学びたいと思うようになりました。誰かの自信につながるカラーを作れるよう、これからも技術を磨いていきたいです。



スウィートミルクティー ジェリーメEDIUM

『キャンディ・パープル』

1年生サロンワーク部門

2位



作者
水野 愛



製作意図

アネモネパープルをメインに据え、シアンをミックスやポイントで差し込むことで、幻想的で奥行きのある色彩を表現しました。クリアで薄めながら濃度をコントロールし、透明感と軽やかさを両立させています。メイクでは紫とピンクを中心にふわふわとした柔らかさを演出し、白のラインでリボンを描くことで可憐さをプラスしました。さらにパールを取り入れることで全体に艶やかな輝きを与え、華やかさと上品さを融合させています。

カットはワンレングスでまとめ、シンプルなラインの中に色彩と質感の豊かさを際立たせました。知的さと幻想的な美しさを併せ持つスタイルを目指した作品です。

苦労した点

ブリーチやカラーの発色を思い通りに出すのが難しく、何度も調整しました。完成まで粘り強く取り組んだことで、基礎技術の大切さを改めて実感しました。

あなたにとってヘアカラーとは？

私にとってヘアカラーは、自分の感性を試せる大切なフィールドです。

色の選び方ひとつで印象が大きく変わるため、毎回新しい発見があります。学べば学ぶほど奥深く、もっと表現の幅を広げたいと思わせてくれる存在です。

使用色



アネモネパープル



シアン



ジェリーメディウム

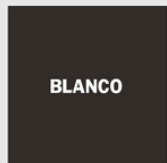
審査コメント

色調の選び方や質感の表現に、学生ならではの新鮮な感性が光っていました。普段のコンテストでは見られないような作品が勢ぞろいしていたので、挑戦することの大切さと学び続ける姿勢に心を打たれました。これからも自己表現することを忘れずに取り組んでいってほしいです。

1つ1つの作品に皆さんの努力と情熱が込められているのを感じました。ウィッグ実習の際に、技術確認に来る生徒さんが多く、作品を素直に楽しんで作っているんだと感じました。今後の成長を楽しみにしています。

学生の皆さんの作品には、美容に対する真摯な姿勢と未来を切り開いていこうとする強い意思が感じ取られました。技術面の精度や表現力の豊かさはもちろん、挑戦する姿勢そのものが大きな価値を持っています。私たち美容業界の現場にとっても、皆さんの新鮮な感性は大きな刺激となりました。これからも自分らしい表現を大切に、未来の美容業界を担う存在へと成長されることを心より期待しています。

審査員



綾華さん

BLANCO名古屋
名古屋市中区栄3丁目13-20
栄センタービルB1



ORIGIN'S
GROUP



THE ORIGIN'S SALON
名古屋市南区駈上1-10-26



浅見さん



太郎さん



兼子さん



三好さん

LaHzA
名古屋市瑞穂区
中山町1丁目20



sasaさん

BUDDY HAIR
名古屋市中区大須4丁目2-58
大和ビル4階



hoya

hair color museum

ホ-ユ-ヘアカラ-ミュージアム